医療改革
2025年問題、2040年問題にむけて

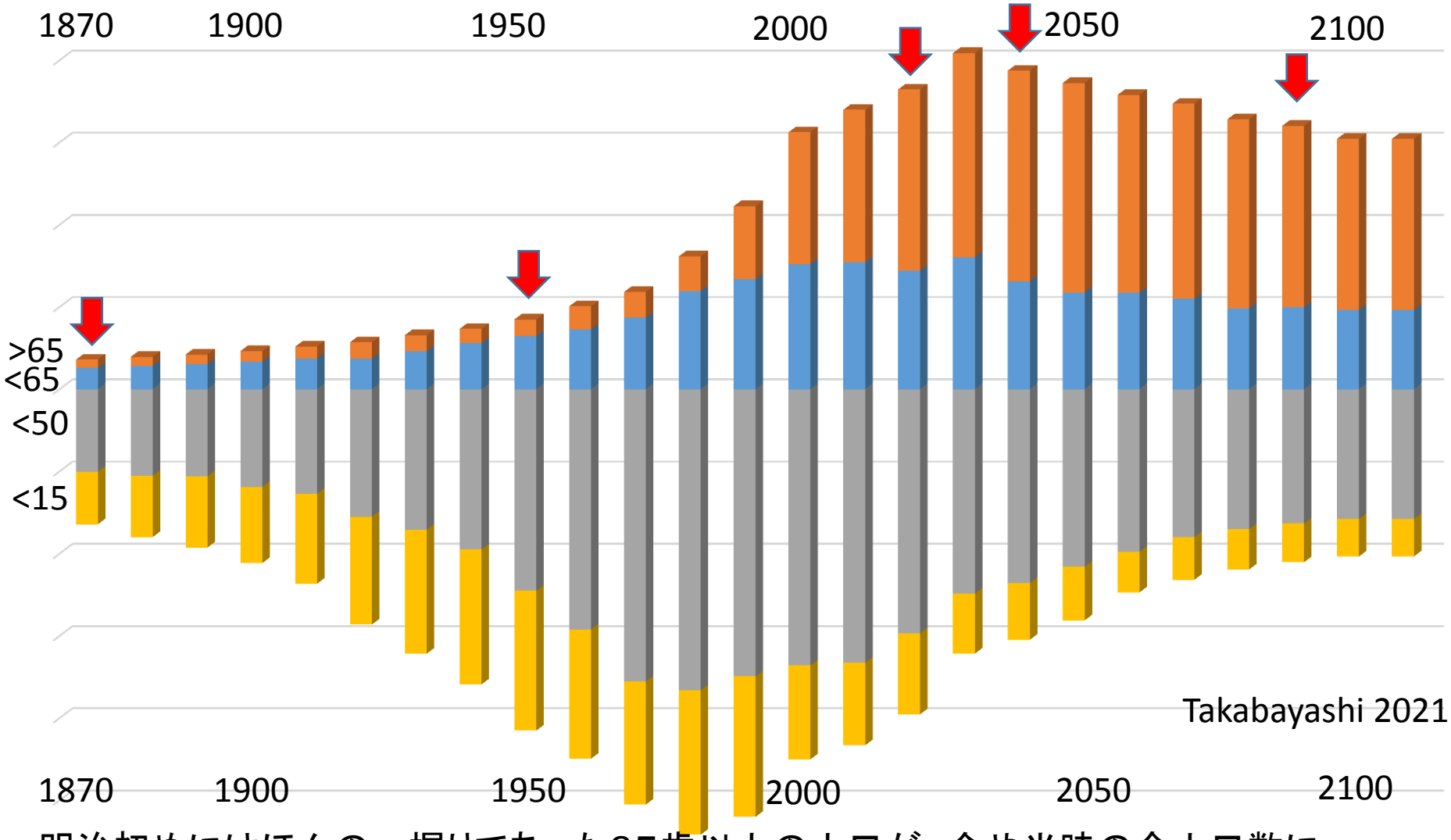
三和病院
高林克日己

COI開示

発表者名:高林克日己

特に開示するものはありません

日本人の人口構成推移



明治初めにはほんの一握りであった65歳以上の人口が、今や当時の全人口数に匹敵する。そしてこれは今世紀中続き、高齢化率が最大になるのは2090年である

Copyright by Sanwa Hospital.

次々現れる高い障壁

2115年　総人口4000万人以下に

2090年　高齢化率最大　41.2%に

2042年　高齢者数最大に
2040年　死亡数最大に　年間　166万人に

2025年　団塊世代が後期高齢者に

寿命の変化と生命観の変化

1920年　　40～50歳代で比較的急に死亡
治す医療

2020年　　80～90歳代まで多くが生きていて
慢性疾患で死亡
支えて看取る医療

20世紀の医療　vs　21世紀の医療

病院の世紀 → 地域医療の世紀

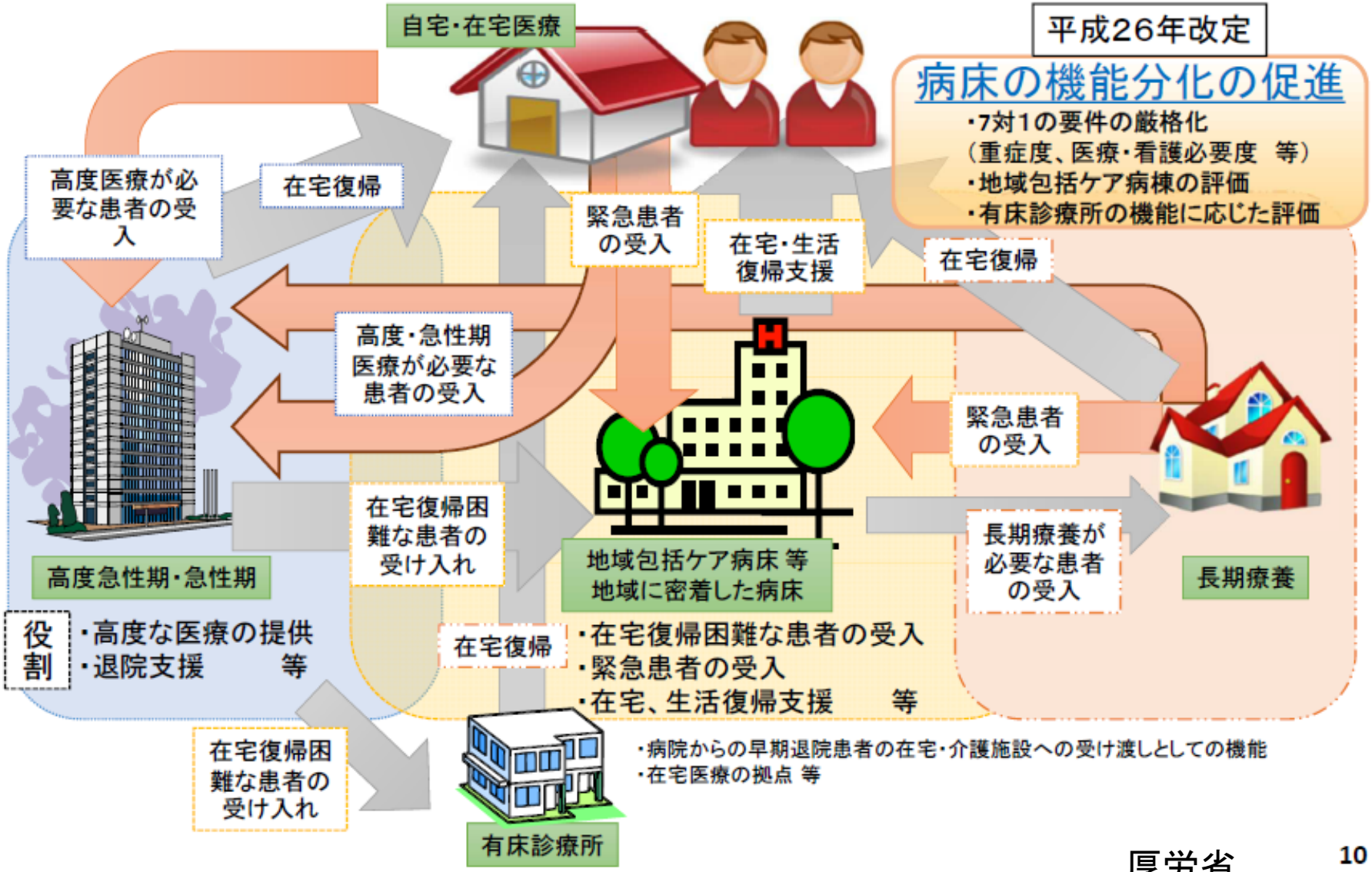
全てを病院に集約　　地域全体で医療を

延命の世紀 → 看取りの世紀

寿命の伸長　　限定された時間のQOL

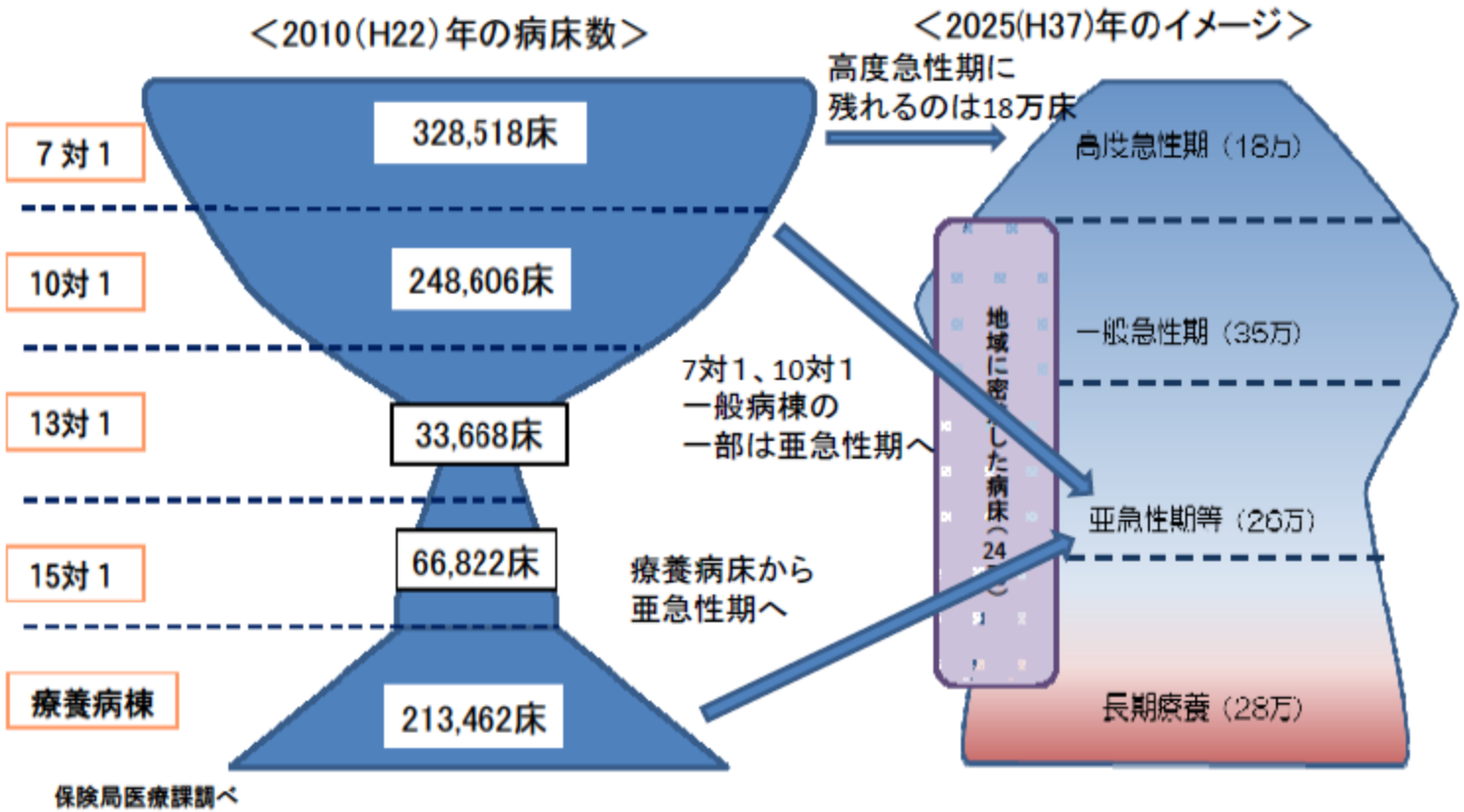
Copyright by Sanwa Hospital.

地域医療へのパラダイムシフト



厚労省

診療報酬による病床機能分化
～ワイングラス型からヤクルト型へ～

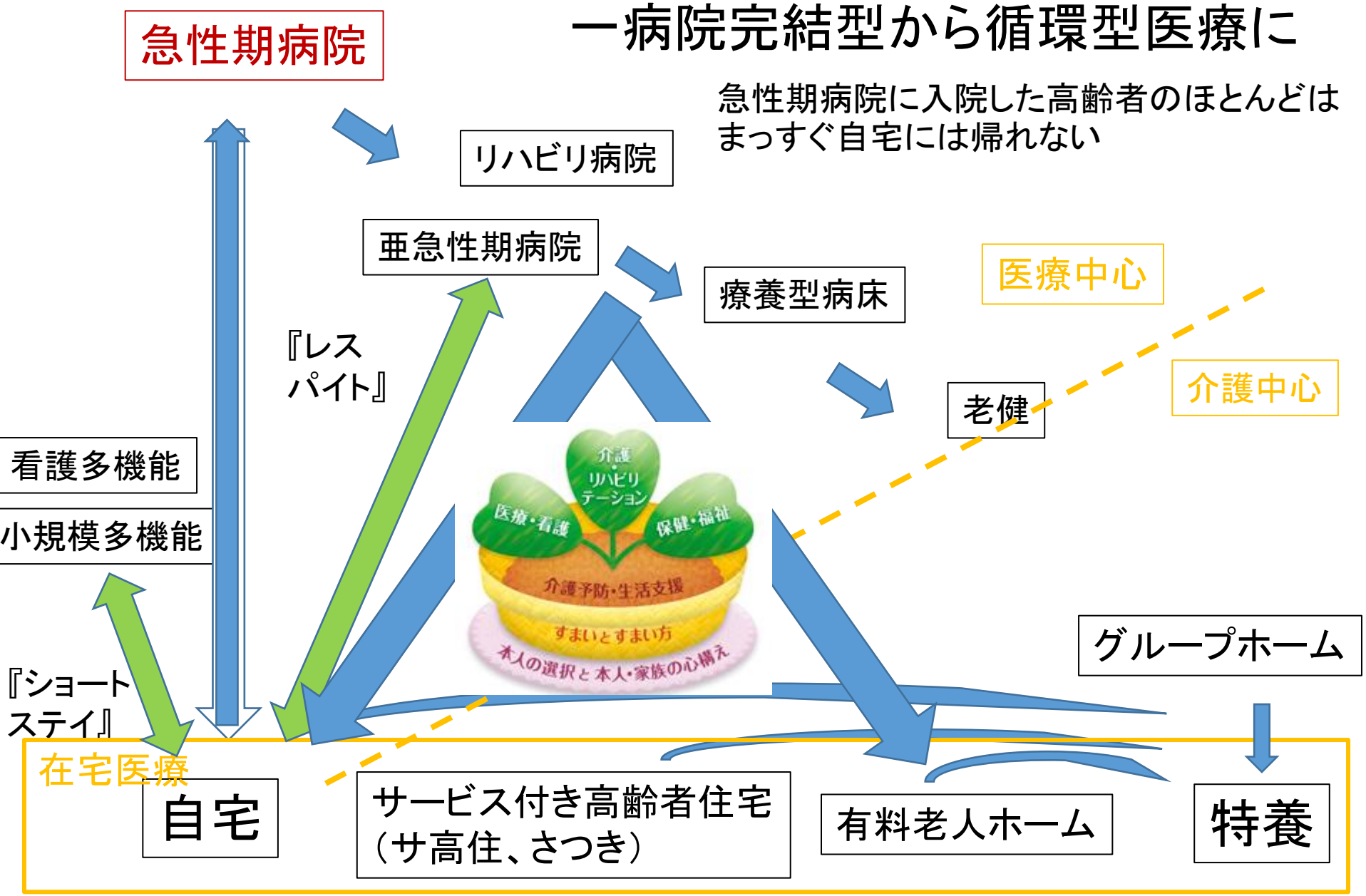


○ 届出医療機関数でみると10対1入院基本料が最も多いが、病床数でみると7対1入院基本料が最も多く、2025年に向けた医療機能の再編の方向性とは形が異なっている。

厚労省データより

一病院完結型から循環型医療に

急性期病院に入院した高齢者のほとんどは
まっすぐ自宅には帰れない



Takabayashi 2018

地域医療と亜急性期病院

亜急性期病院は地域医療の要

入院期間が短い急性期病院では、患者の今後の医療・介護計画を熟慮する余裕はない

急性期病院

亜急性期病院

療養型病床

特養

グループホーム

サ高住

外来

入院・外来・在宅医療
一貫した診療で！

訪問診療・訪看・在宅患者

Copyright by Sanwa Hospital.

在宅医療

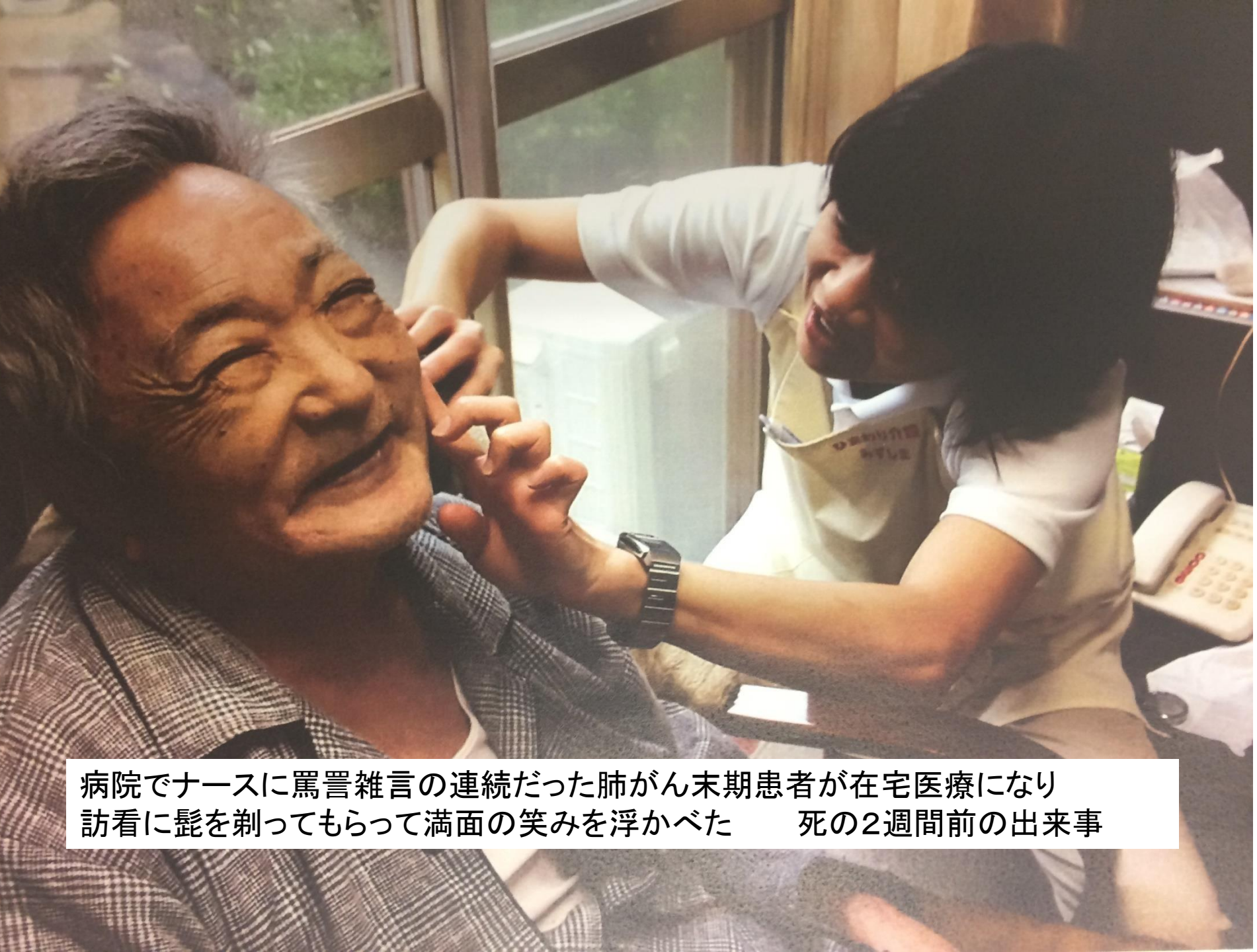
長所

１　患者の希望、満足度が高い
２　病院ほどの資源を要しない
３　医療費の軽減

短所

１　最新の医療はできない
２　介護力の確保
３　非効率
４　安易な医療になる懸念

Copyright by Sanwa Hospital.



病院でナースに罵詈雑言の連続だった肺がん末期患者が在宅医療になり
訪看に髭を剃ってもらって満面の笑みを浮かべた　　死の２週間前の出来事

市立病院から乳がんの化学療法で頼まれた患者を在宅医療に切り替えて
家で点滴をしたら、それまで笑ったことのない二人が笑顔を見せてくれた
左の女性は沖縄の実家にまで行くことができた

ヘルパー
ケアマネージャー
知人
看護師
みんなで看る！

在宅医療

患者の満足度は極めて高い
　在宅医療を受けられるのは幸せである！

キーパーソン；介護力の問題

本人の意思があれば　おひとりさまも可能

Copyright by Sanwa Hospital.

家族友人が誰もいなかった前立腺患者。病院では嫌われ者だったが、在宅医療が始まってすっかり打ち解けて、静かな最期を自宅で迎えることができた。

今後地域医療の内科医として学ぶべきこと

★　全人的医療を丁寧に実践すること

１　多職種連携（医療・介護）の中心的役割

２　ポストアキュートにおける患者と家族の今後の選択支援（ACP・AD）

３　終末期医療と緩和医療　　そこそこの医療とは

４　在宅医療(訪問診療）

Copyright by Sanwa Hospital.

現在の専攻医の地域医療研修

技術的には1人前？　全人的医療は半人前

自己流の医療（基本から逸脱した医療　カルテ記載）

関心は自分の専門領域

地域医療は既に経験して理解していると思っている
　　しかし表面的で、本質を理解できてはいない
　　これらは後年自然に学ぶものなのか？？

↓

既に出来上がっているものを矯正することは容易ではない

地域医療の適切な指導医は十分に見つかるだろうか

Copyright by Sanwa Hospital.

地域医療研修；克服すべき課題

地域医療はこれからの医療の重要な柱

指導者	地域医療を適切に教えられるメンターの確保
カリキュラム	地域医療の動向に合わせた対応が必要
Motivation	Subspecialty 志向の中でどう動機づけるか 医の原点であることの気づき
医師の再教育 reskilling	細分化した専門医から総合医へ 高齢者は高齢の医師が診る、互助・共助

Copyright by Sanwa Hospital.

結語

21世紀中、高齢化社会は継続し高齢化率は今後も上昇する

今後は地域医療と、支え・看取りの医療が不可欠である

地域医療の担い手である内科医育成のための
研修体制の構築が必要である

Copyright by Sanwa Hospital.